

7-3 松代における地殻変動観測（2016年11月～2017年4月）

Observation of crustal deformation at Matsushiro (November 2016 – April 2017)

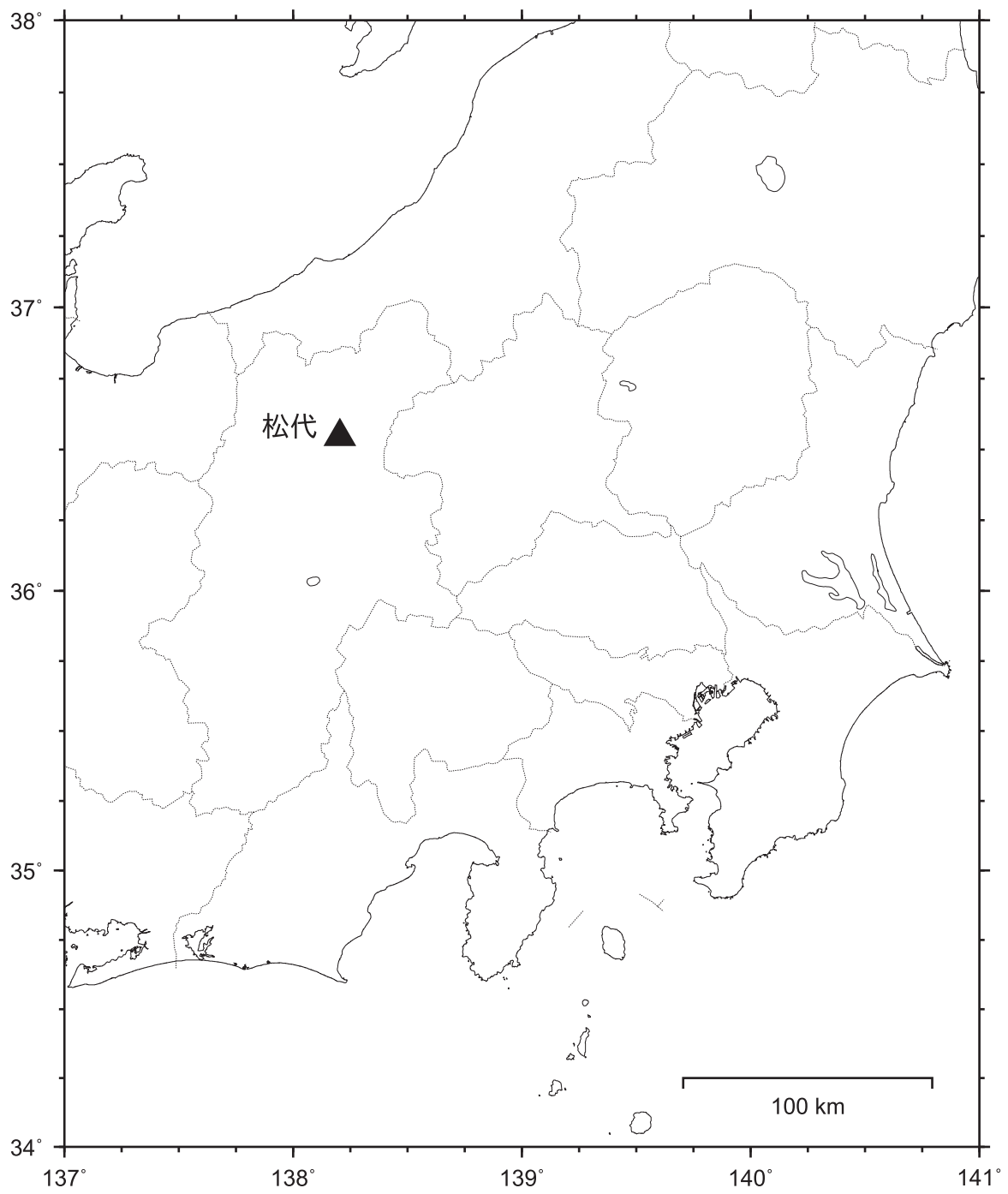
気象庁

Japan Meteorological Agency

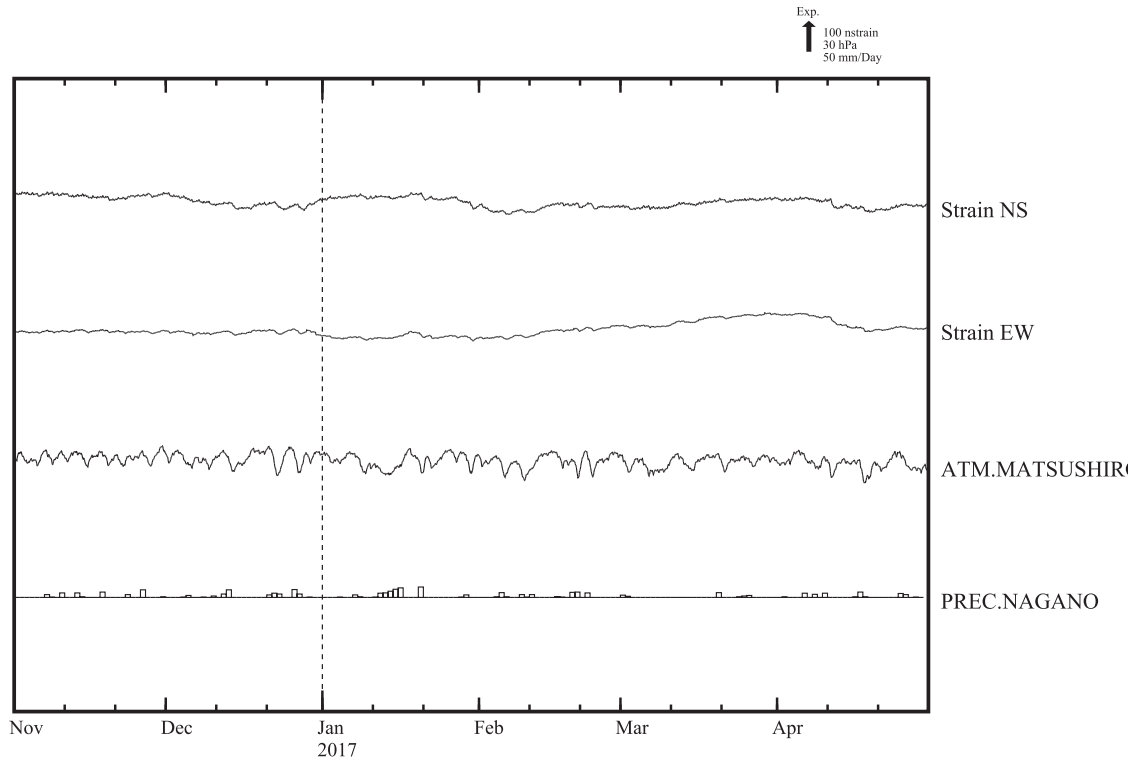
気象庁は、本邦の特定の地域における地殻活動の状況及び傾向の調査を主な目的として、長野県松代（長野市， $36^{\circ}32'47''\text{N}$ ， $138^{\circ}12'13''\text{E}$ ）で石英管式ひずみ計による地殻変動の観測を実施している（第1図）。

第2図に2016年11月から2017年4月までの観測結果を示す。降水による影響と見られる変化以外に、ひずみ計に特段の変化は見られなかった。

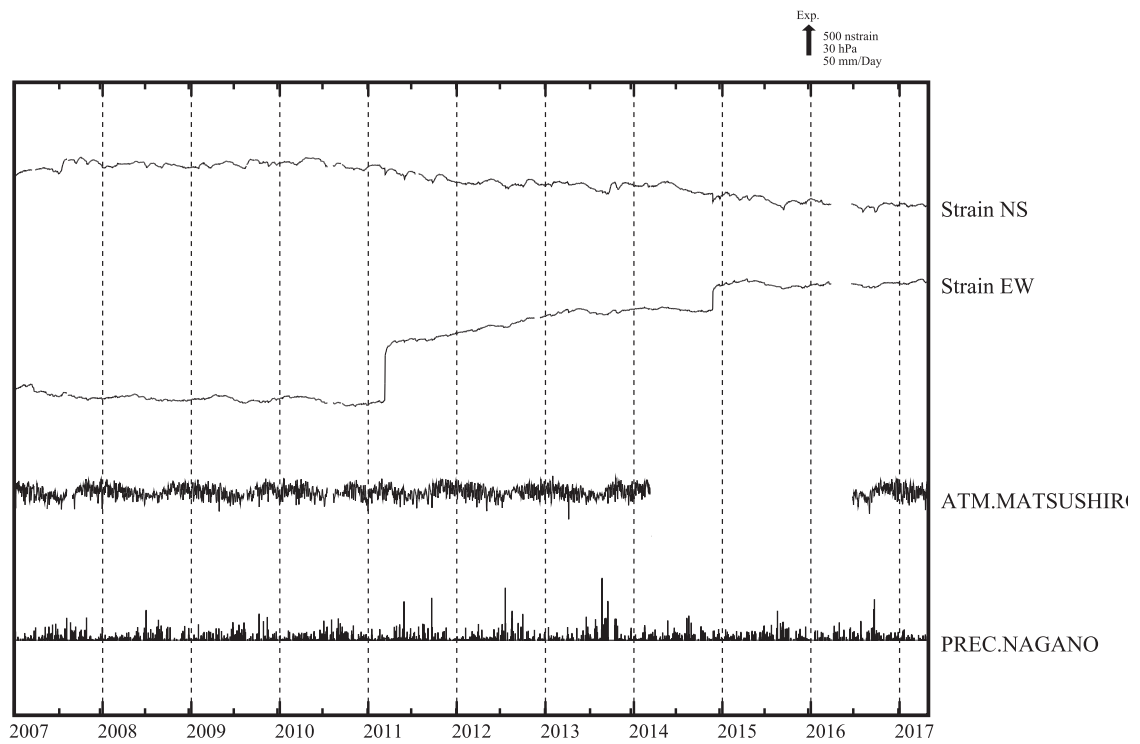
第3図に2007年以後の観測結果を示す。ひずみ計では、平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震で東西成分に大きな伸びの変化が見え、その後も余効変動と思われる伸びの変化が続いていたが、2013年頃からは不明瞭になっている。また、平成26年（2014年）11月22日に発生した長野県北部の地震で南北成分は縮み、東西成分は伸びの変化を示した。



第1図 松代の位置.
Fig.1 Location of Matsushiro.



第 2 図 石英管式ひずみ計の時間平均値（潮汐補正した値），気圧，日降水量（2016 年 11 月～2017 年 4 月）.
 Fig.2 Hourly mean records measured by quartz-tube strainmeters, barometric pressure and daily precipitation from November 2016 to April 2017 (tidal effects are corrected).



第 3 図 2007 年 1 月以後の石英管式ひずみ計（日平均値），気圧（日平均値），日降水量の変化.
 Fig.3 Daily mean records measured by quartz-tube strainmeters, with barometric pressure and daily precipitation since January 2007.